

Adobe Illustrator CS5 目指せ、脱初心者！制作テクニック講座

・ 図形を思い通りにつくる！

全てを知り尽くすよりも、使えるものだけをしっかり使える方がよっぽど大事です。

- 選択ツール（図形を選び、動かす）
- ダイレクト選択ツール（図形の細かい部分まで触れる）
- ペンツール（直線・曲線が描ける）
- 文字ツール（文字を打てる）
- 長方形ツール（長方形が描ける、そのほか円とかも）
- 回転ツール（図形を回転できる）
- リフレクトツール（図形を左右 / 上下対象に変形できる）
- 拡大・縮小ツール（図形を拡大・縮小できる）

・ 図形を描いてみよう

- 長方形を描く
 - ◎ フリーハンドで描く方法がある
 - ◎ シフトキーを押す事で正方形が描ける
 - ◎ 数値を入力して正確な寸法で描く方法もある
- 円を描く
 - ◎ フリーハンドで描く方法がある
 - ◎ シフトキーを押す事で正円が描ける
 - ◎ 数値を入力して正確な寸法で描く方法もある
- 角丸長方形を描く
 - ◎ フリーハンドで描く方法がある
 - ◎ シフトキーを押す事で角丸正方形が描ける
 - ◎ 数値を入力して正確な寸法で描く方法もある
- 正多角形を描く
 - ◎ 数値を入力して正確な寸法で描く方法もある
- 星形を描く
 - ◎ 数値を入力して正確な寸法で描く方法もある
 - ◎ 点の数を増やせば、トゲトゲの図形も描ける

図形を動かしてみよう

■移動させる

- ◎シフトキーを押す事でまっすぐ移動出来る
- ◎alt を押しながら動かすと、移動複製が出来る
- ◎移動ツールをダブルクリックすると数値入力で動かせる

■マウスでつかんで、動かす

- alt キーを押しながらマウスでつかんで、動かす (移動複製)

図形を変形してみよう

■拡大縮小させる

- ◎シフトキーを押す事で縦横比率をそのまま拡大縮小
- ◎数値でも拡大縮小できる

変形の基準点をまずクリックして (+ のある位置) 次にそこから離れた所でマウスを押しながら動かすと 基準点を中心に大きく (小さく) なっていく。

■回転させる

- ◎シフトキーを押す事で 45 度に限定して回転
- ◎数値でも回転できる

変形の基準点をまずクリックして (+ のある位置) 次にそこから離れた所でマウスを押しながら動かすと 基準点を中心に回転していく。

■上下左右に反転させる (リフレクトツール)

- ◎リフレクトの軸を決めて、その軸が「水平」なのか「垂直」なのかで、反転する方向が決まる

ペンツールを制するものイラレを制する!

■直線はもちろん、キレイな曲線を描けたらプロ

- ◎ペンツールでポンポンっとクリックすると、線がひかれ、直線が描ける
- ◎一度クリックをやめて別な作業をしたあとに、またペンツールでポンポンっとクリックしても以前つながっていた線にはつながらない
- ◎ただし、最後の点をクリックしたあとに同じ作業を繰り返すと前の途切れた図形につなぐことができる
- ◎曲線を描く時は「ハンドル」が出てくる
- ◎「ハンドル」の向きと長さによって「曲線のカタチ」が決定する。

名刺をつくります

■文字の打ち方、見せ方によって、印象は全然ちがいます。

縦書き、横書き

文字の装飾（フチ取り、影など）

印刷に出すとき気をつけたい事

地図をつくります

■プロの現場で行われている地図作成とは？

地図として必要な目的とは？その見せ方とは？

GoogleMap を下絵にして、オリジナル性のある地図

JRの線など、複雑な線の書き方

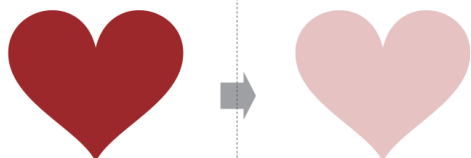
慣れるまで特製サンプルファイルをつかって練習

■未経験者から脱・初心者になるため、

なるべく無駄を省いた最短練習法を公開、そのサンプルファイルを使って練習していただきます。

図形に挑戦

Ai Illustrator® Basics



楕円形ツールで正円を描きましょう。
それ以外の描画系ツールは使いません。
ダイレクト選択ツールでパスを変形して
リフレクトツールで左右対称にコピー。



91×55(mm)の長方形
色は塗りが白、枠が黒



91×55(mm)で角半径が3mmの角丸長方形
色は塗りが白、枠が黒



直径15mmの正円 塗りは黒

図形に挑戦

Ai Illustrator® Basics



点の数は30個ぐらい、
第一半径100px、第二半径80pxで作ってます
フォントはアナタのセンスにお任せします！



第一半径30mm、第二半径20mm
の星形、塗りは下図を参考に。

